



木工技術を学びながら制作中

木の温もりを感じて、木のある暮らしを 木育DIY教室

福島の木を使って木工技術を体験してもらおうと木育DIY教室が11月28日、観月台文化センターで行われ、午前と午後の部で計18名が参加しました。

教室では、ディ・シー・ツー有限責任事業組合の熟練の木工職人を講師に木製スツール作りに挑戦。参加者は木の温もりを感じながら、ものづくりの楽しさを体感しました。



交通遺児支援のため寄付する野村さん

交通遺児支援のために役立てて 野村義悦さんが町に寄付

野村義悦さん（大町南）は12月7日、国見町役場を訪れ、交通遺児の支援に役立ててほしいと町に寄付しました。

平成24年から毎年献身的に町へ寄付されている野村さんは「子どもたちのために役に立てればという思いで寄付を続けています」と語り、引地真町長が「思いに沿えるよう有効活用します」とお礼を述べました。



引地町長に受賞報告する舟山さん（右）

デビュー曲「恋月」がヒット賞受賞 国見町在住の演歌歌手舟山恵美子さん

福島演歌塾所属（鈴木勝二塾長）の舟山恵美子さんのデビュー曲「恋月」が、令和元年度レコード販売年間第一位だったとしてみちのく歌謡文化連盟・みちのくレコードからヒット賞を受賞しました。

舟山さんは国見町役場を訪れ、引地真町長に受賞を報告し、「みなさんの応援のおかげで受賞できました。コロナ禍でも歌を聴いて多くの人に元気になってもらいたいです」と話していました。



対話形式で楽しく日本語を勉強

にほんご こんにちは 地域で暮らす外国人が日本語を学ぶ

地域で暮らす外国人を対象とした日本語教室「にほんご こんにちは」が12月1日、8日、15日の全3回、観月台文化センターで行われました。

日本語学習サポーターが参加者の日本語の勉強を対話形式でサポート。参加者からは「やさしく教えてもらったので、楽しく日本語を学びました」などの声が聞かれました。



伊達地方消防組合から表彰を受ける太田前町長

伊達地方消防組合・衛生処理組合表彰 太田久雄前町長が受賞

伊達地方消防組合と伊達地方衛生処理組合より、両組合の副管理者を8年にわたり務めた太田久雄前町長へ表彰状が送られました。表彰状が12月16日、国見町役場で行われ、両組合管理者の須田博行伊達市長より表彰状がそれぞれ手渡されました。太田前町長は「これからは1人の住民として地域の安全・安心のためにできることをやっていきたい」と話していました。



お父さんと一緒に紙コップクラッカーを制作中

親子でおもちゃ作りを楽しむ 「いい育児の日 親子工作会」

県が定める「いい育児の日」(11月19日)や「子育ての日」(11月の第3日曜日)に合わせて11月15日、「くにみもたん広場」と道の駅国見あつかしの郷「こども木育広場つながる〜む」で、手作りおもちゃを親子で工作するイベントが行われました。

各会場では、紙コップクラッカーやマラカスなどのおもちゃを作りながら、親子で楽しくふれあう姿が見られました。



練習や試合がんばってください

がんばる子どもたちを応援 国見ライオンズクラブが支援金

国見ライオンズクラブ（佐藤忠会長）は11月18日、国見ソフトボールスポーツ少年団と国見ミニバスケットボールスポーツ少年団にそれぞれ支援金を贈りました。

まごころサービス国見センターで贈呈式が行われ、佐藤会長がソフトスポ少の菊地悠翔主将とミニバスケスポ少の渡邊夕陽主将に支援金を手渡しました。



あんぽ柿作りを体験する参加者

歴史とあんぽ柿で秋の国見を満喫 秋のくにみ周遊ツアー

道の駅国見あつかしの郷からバスで巡る「秋のくにみ周遊ツアー」が11月20日と21日に行われ、宮城県内から約20名が参加しました。

参加者は、小坂峠や福源寺などの史跡巡りを満喫した後、町の特産品「あんぽ柿」作りを体験。参加者は農家の説明を聞きながら皮むきや紐通し作業を体験しました。



大人から子どもまで国見自慢の食に大満足♪

くにみ自慢のおいしいものを食べ歩き くにみ(み)でまんぷく！ウォー食(ク)ラリー

町商工会主催で町内のグルメを試食して回る『くにみでまんぷく！ウォー食ラリー』が11月21日、藤田商店街で行われました。集合時間をずらすなど新型コロナウイルス感染症予防対策をとったうえでの開催となりました。

参加者は、11店舗を巡ってお店自慢の看板メニューを堪能したほか、「おたのしみクイズ」などを楽しみました。



国見町ならではの体験と温かい人との出会い

ディープに町に入り込み、じっくりと関わる 短期ホイスコーレ 2020 秋

「ローカルでこれから見つめる3日間のプログラム」をテーマに国見ホイスコーレが11月21日から23日まで石母田地区の古民家を基点に行われました。

参加者は、集まった仲間と町歩きをしながら町の魅力に触れるミッションに挑んだり、農作業体験を通じて、出会いや対話の中で生まれた気付きと学びを共有しました。